

ユビキタスウェアラブルワークショップの原稿サンプル

上新振留夫（塚本短期大学）、指木多須美（寺田女子大学）

1 研究の背景と目的

ユビキタスウェアラブルワークショップ（以下、UWW）では、読み易い冊子を出版するために、著者の方々の協力が不可欠である。そこで、本フォーマットを使用することを強く推奨している。このフォーマットに文章を流し込むと、あら不思議、誰でもステキな体裁になるのである。だからお願いします、編集作業を効率化させるために、貴方の清き一手間を。というわけで、本フォーマットの目的は、UWWの成果を記録に残し、当日の発表内容を手軽に理解するために統一的な論文形式を提案し、実装することである。

2 これまでの研究内容

本章では、これまでのUWWの歴史について述べる。

UWWは、大学と企業の間の垣根を取り払い、ユビキタスウェアラブルの未来について語り合い、学生間の交流を深めるために開催された。本ワークショップは、2007年にシーサイドホテル舞子ビラ神戸で行われた第1回より、神戸市（2008）、三木市（2009）、神戸市（2010）、舞子市（2011、2012）、淡路市（2013）と兵庫県内各地の会場で開催され、今年で8回目となる。UWWでは、出席者全員でワークショップを盛り上げることを原則としており、この伝統は今も受け継がれている。第1回では、第1発表者は47人、プロシーディングは48ページだった。ここでは、昨年行われたUWW2013[1]について述べる。UWW2013の表紙を図1に示す。この年は、2日間で計48人が濃密な発表を行った。学生は緊張した面持ちで発表を行い、企業の方はウェアラブル技術の最新動向について報告を行い、先生方は研究者として、ユビキタスウェアラブルの将来を熱く語った。すべての参加者がユビキタスウェアラブルに対する情熱をぶつけ合った発表会は、数多くの驚きと笑いを巻き起こし、閉幕した。

また、神戸ルミナリエの開催中に行われた第4回以外のUWWはすべて合宿形式で行われ、ナイトセッションが企画された。ナイトセッション1では、企業の方による実践的なワークショップが開催され、学生たちは新たな知見に出会い、親睦を深めた。なお、深夜に開催されたナイトセッション2については、諸々の事情で今回もやはり言及しない。

3 コマンド

- 兄にドラクエ4を隠され泣きながら探した、10歳の春。
- NEO・GEOのカセットの大きさにビビった、11歳の夏。
- ピピンアットマーク欲しさに親と喧嘩した、16歳の春。

表1のように表を作成してもよい。

表1: 指木多須美のオシャンティな一日

時間帯	オシャンティな行動例
朝	日課のジョギング。目標は松野明美。
昼	上新先生のダジャレを受け流す。 たまに褒めるのがポイント。
夜	お肌をキュウリパック。キュウリは自家栽培。



図1: ユビキタスウェアラブルワークショップ2013表紙

4 おわりに

本研究では、UWWの成果を記録に残し、当日の発表内容を手軽に理解するために、統一的な論文形式を提案し、実装を行った。また、これまでのUWWの歴史を紹介し、UWWで今後生まれる予定の黒歴史の一端を暗示した。

今後の予定は、UWWのプロシーディングで本フォーマットを使用していただき、UWWの発表で活発な議論が行われることを妄想し、UWWの発展を祈念することである[2, 3, 4, 5, 6]。

参考文献

- [1] ユビキタスウェアラブルワークショップ2013プロシーディング (2013).
- [2] Buruo, U., and Tasumi, Y.: New Wearable Generation, Trans. Hogehege, Vol. 7, No. 7, pp. 777-788 (2000).
- [3] 上新振留夫: ウェアラブル, お前もか, 骨川書房 (2010).
- [4] 上新振留夫: 部屋とウェアラブルと私, 骨川書房 (2012).
- [5] 上新振留夫, 指木多須美: ウェアラブル環境におけるHMDを用いた高齢者向けバーチャル恋愛システム「ゲートボールで攻めて恋」の実現, 穂下穂下処理学会論文誌, Vol. 42, No. 2, pp. 25-32 (2013).
- [6] 上新振留夫: ウェアラブル川柳〜キ (着) テる貴方に送る, 17文字のメッセージ〜, 骨川書房 (2014).